

活動報告

東千葉ふくし展を 開催しました



福祉・介護のお役立ち情報が盛りだくさん！

福祉用具を見て・触れて・体験できる

東千葉 ふくし展 を開催しました。

日 時	令和4年11月13日（日） 10:00～15:00
場 所	東千葉地区自治会集会所
参加者	東千葉地区在住の皆様ほか（71名）
共 催	107地区民生委員・児童委員協議会 社協東千葉地区部会 千葉市あんしんケアセンター東千葉 千葉市生活支援コーディネーター東千葉圏域
内 容	①福祉用具の展示・説明・体験 ②ミニ講座 ③相談機関による情報コーナー



■ 大好評〈ふくし展〉がバージョンアップ

感染対策をしつつ盛大に開催。多数の福祉用具事業者やメーカー、生活支援コーディネーター中央区等の協力を得て、各ブースの内容がさらにバージョンアップ！地域の皆様はもちろん、関連機関や行政職員も来訪し、関心の高さが伺えました。



■ 出展者の声

「地域の皆さんのご意見を直接伺うことができてよかった。」
 「実際に屋外で歩行器や車いすなどを試乗していただけてよかった。」
 「福祉用具事業所同士の意見交換ができてよかった。」



■ 参加者の声

「普段見られない介護用品を実際に見て・触れることができてよかった。」
「福祉用具が充実していることに驚いた。」
「遠方に住む家族に紹介したい福祉用具があった。」
「認知症になっても安心して暮らしていける東千葉にしていきたい。」

発行・連絡先 **千葉県あんしんケアセンター東千葉／千葉県生活支援コーディネーター東千葉圏域**

所在地 千260-0017 千葉市中央区要町 16-12

電 話 **043-216-2131** (代表) **070-3100-6006** (生活支援コーディネーター)



F A X 043-216-2132

E-mail anshin-higashichiba@iaa.itkeeper.ne.jp (代表)

E-mail anshin-higashichiba@iaa.itkeeper.ne.jp (代表)
 sc-higashichiba@koutokukai.sakura.ne.jp (生活支援コーディネーター)



■ 福祉用具の展示・説明・体験、ミニ講座



自立を支援する福祉用具

その方によって身体の状態や困りごとはさまざまです。その人の状態にあった福祉用具を正しく使用することで、いつまでもご自身の力を活用しながら、地域で自立した生活が送れます。



杖やシルバーカーや手すり、車いすや介護用ベッドを実際に体験しました。排泄後の匂い、後処理・感染対策等に効果的な最新のポータブルトイレにも沢山の方が興味を示していました。さらに、薬の飲み忘れを予防するために時刻をお知らせをしてくれるお薬カレンダーや、外出を知らせるセンサーなどを知ること、認知症になっても安心して生活ができることを学ぶことができました。



安全な移動手段の選択肢

加齢や疾病、運転免許証の返納等により、シニアの安全な移動は、重要な課題のひとつです。現時点では必要が無くても、どのような移動手段があるのか知ることは大切です。シニアカーの試乗も稀な体験。近所の小さな子どもたちも試乗し、ささやかな福祉教育になりました。



ミニ講座「大人のトイレ事情」 ※1回 30分

トイレの心配は、閉じこもりの原因のひとつ。デリケートなテーマということもあり、少人数で3回に分けてミニ講座を実施し、約20名が参加されました。トイレの心配をサポートするサンプルの配付もありました。少しでも心配事を減らして、活動的に暮らしていただきたいです。

■ 相談機関による情報コーナー



中央区障害者基幹相談支援センター

地域に暮らす障害のある人、または障害があると思われる人の総合相談窓口です。令和2年10月に開設したばかりなので、みなさまに知っていただく良い機会になりました。これからもよろしくお願いします。



認知症地域支援推進員

認知症希望大使や認知症イベントの動画視聴、資料の掲示・配布を行いました。メッセージコーナーを設置し、「認知症の人がいきいきしている！」「認知症になっても笑顔で過ごしたい！」等の感想をいただきました。認知症について当事者が発信する意義を感じました。



千葉市あんしんケアセンター東千葉

安否確認サービス・配食サービスのパンフレットの配付や、介護保険・介護予防の紹介、握力測定を行いました。みなさまが熱心にご参加下さりとても嬉しく思っております。地域の情報やご自身の状態を知る一助となりましたら嬉しいです。

